

新白鳥病院の

概要等について

香川県立白鳥病院では、平日時間内の外来診療や入院治療だけではなく、夜間や休日などの時間外におきましても、出来るかぎり患者様の診療に当たらせていただいております。特に狭心症、心筋梗塞、不整脈などの循環器疾患や、腹痛などの消化器疾患などには、二四時間体制での救急医療を行っています。

また、東讃地域の中核的病院として、東かがわ市五名地区のへき地巡回診療や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療事業を行っているほか、特定健診や人間ドックも実施するなど、地域の医療需要に着実に応えています。

しかし、現病院が建築されてから三十年余りが経過し、施設の老朽化や狭隘化が目立つようにな

り、施設全体が時代にそぐわなくなってきました。このため、現在地で建替えることになり、来年度の早い時期での開院に向けて、現在、新病院を建築中です。

新病院は、三階建て構造となりますが、施設面積は、現病院の四〇%増の九千七百平米となりまして、病床数も、一五〇床（現在一三四床）となります。

一階には、外来診療部門と検査部門等が配置され、二階は、病棟と手術室、薬局、リハビリテーション部門などが入り、三階には病棟が設置されることとなります。

また、これまでの内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科等に加えて、脳神経外科や耳鼻咽喉科などを新設する予定です。

新病院の開院に合わせ、電子カルテシステムや最新鋭の高度医療機器（MRI（磁気共鳴画像診断装置）・DSA（血管造影撮影装置）ほか）を整備するなど、最適・最新・最善の医療を提供します。

外来部門においては、現在と比べて広めの待合スペースや中待合スペースを設けるほか、案内表示システムや再来受付機・自動精算機などを整備し、外来患者様の利便性を向上させます。

入院部門においては、四床部屋を基本として、病室面積を拡張するとともに、病床数の二割を越える個室を整備するなど、療養環境の向上を図っています。

現在、ご来院いただいた患者様には、工事期間中の駐車可能台数の減少や出入り口の変更等で、いろいろとご迷惑をおかけしていますが、ご理解とご協力をお願いします。

最後に、坂東病院長以下、私たち職員一同は、接遇面も含め、常に良質の医療を提供することを心がけ、地域住民の方々に、より一層信頼される病院となりますよう、今後とも努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

香川県立白鳥病院

事務局長 和田充弘